

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成30年3月15日(木)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午後2時30分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 吉田 二郎 委員 佐野 善弘 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男
欠 席 者	
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局主事 高橋秀彰
協 議 事 項	・調査研究テーマについて
そ の 他	
閉 会	午後3時15分

2号様式 協議の経過

鈴木宏通委員長	総務、産業、建設常任委員会をこれから始めたいと思います。委員全員7名出席でございますので成立をします。 今回は常任委員会を急きょ皆様にお集まりいただきまして、前回調査研究テーマにつきましている案を出していただきましたが、今回そのテーマに沿って決めるべく、テーマをここで決めたいと思いますのでよろしく審議のほどお願い申し上げます。 早速会議に移ってまいりたいと思います。前回の流れを見ますと、研究テーマに人口減少と若者の定住化の推進のためにという話で出ましたけども、その中に空き家対策等のことを含めたらいいんじゃないかということで前回その話で進めましたが、定住化推進を重点と置くか、まず空き家対策という部分で重点をおいておくか。前回もテーマが広いんじゃないかという話もありましたけども、その件に関しましてテーマをうまく1本に絞って進めてはいいかなと思ひまして今回のテーマ設定になりましたが。皆様も所見をもっていらっしゃるかと思いますが。
櫻井功紀委員	前回ね、絞り込んだんだけど、その後については委員長と副委員長で何か話し合いはしたの。
鈴木宏通委員長	はい、しました。副委員長にも、今後のこともありますので、まちづくり推進課の課長さんと職員の方々と空き家対策についてのことで話し合いを設けました。きょうも副委員長にこういうテーマに沿って考えていきたいという話をしましたけども、その中で空き家対策ということを中心にまちづくりでは話をしながら今後こういったテーマに沿っていきたいんだけどもということで相談した次第でございます。 その前の27日に行ったときの空き家対策についてと、増加する空き家対策をどう活用するかということで副委員長と話をし、その旨テーマをまちづくり推進課の中でどのような対策を今しているか現状等の把握をすべく、資料を提供していただくべくまちづくり推進課の職員の方々とお話しした次第でございます。 空き家対策についてということと、空き家対策と定住化ということもありましたし、前回のお話の中では増加する空き家対策をどう食いとめるかというお話。そして、利活用というところも出ましたけども、その部分で皆さまにいろいろ話を受けましたけども。……もあつたほうがいいかと思ひまして副委員長とも話をした次第ですけども。
佐野善弘委員	2月27日、一応テーマを決めましたよね。（「大きくね」の声あり）あれから変えたんですか、また。
山岸三男副委員長	別に変えたわけではない。
佐野善弘委員	いや、変えたんじゃないですかね。この間は「人口減少対策と定住化の推進」というようなことでの、一応決めたんですけどね。もしあれだったら、一度決めて、また新しくあれなんですかね。
鈴木宏通委員長	私のほうから言わせていただければ、人口減少と定住化ということが範囲が広いんじゃないかということで、前回最後の部分でもう少し絞り

	込みをかけたらいいいんではないかという御発言をもとに、もう少しテーマに関して次回までに考えたらいいいんではないかということで今回の委員会になったかと記憶しておりますが。 もちろん最初に決めたのが、まあ決めたというか、前は今佐野さんが申したとおり「人口減少と定住化の推進」ということに決めましたけども、それでは実際テーマとして範囲が広すぎないかという話が出ましたので、もう一度テーマに関して話し合いを持ちますということでその中で、もちろん人口減少と若者の定住化の推進ということで空き家対策から人口減少対策を考えたらいいいんではないかという、論点と言ったら変ですけど、そこを絞り込みをしたらどうかなと思ひまして、副委員長と話をしながら空き家対策を含めてその対策をしていったらいいいんではないかなと思ってきょうの委員会になったわけでございます。
山岸三男副委員長	今、委員長が言うように、前は確かに人口減少、定住化みたいなことで研究テーマも決まったような、名称はね、標題が決まったような印象があったわけですけども。委員長が今言ったように減少化と定住化、空き家対策もこれ全部関連しています。ですから、まず絞るということは空き家対策、標題ね、研究テーマの標題を空き家対策という部分に少し絞って議論の中でそれが定住化につなげる、あるいは人口減少化に歯止めとかね。そういう議論に進んでいくんではないかなという思いがあるんですね。ですから人口減少化と定住化という大きい標題ではなくて、空き家対策という少し絞込んだ形で議論を拡大して深めていったらいいいんではないかなという思いがあったんです。その辺を皆さん議論していただければと思います。
佐野善弘委員	それでは2月27日、一応決めた内容からもう1回振り出しに戻るといことでよろしいですか。私のメモにはそういうことが書いてないんですけどね。そういうことになったというのが私の記憶になかったものですからね。委員長さん、副委員長さん、1回決まったやつをそういうふうな……というのはいいいんですかね。
鈴木宏通委員長	いや、中身を変えるわけではなくて、今副委員長が申したとおり定住化についての人口減少対策としての空き家対策からの例えば人口を減少するのに歯止めること。空き家対策を利用したの利活用をもって例えば人口をふやす部分。そういうことも活用しながら考えましょうという話をしまして、例えば人口減少とこの定住化の推進ということに空き家対策が主に大きくかかわるんではないかという点で前回は話も出ましたので、そこを中心に考えましょうという話を副委員長としました。 それでその中で人口減少対策及び定住化の促進に係る空き家対策を主に捉えながら、そのつながる部分としての人口減少対策、定住化の促進につなげていこうという話で今回の話を進めているところでございます。
佐野善弘委員	そうするとやはり内容が変わったのかなと、この間の会議からですね。そういうふうな状況にしか思えないんですけども。この間もいろいろ

	ると研究テーマというのがあったんですけどもね。皆さんから出されたやつ。それを絞った中でというような。 だからもう少し本当はそういう中で、最初から絞るのではなくてやっていく中で絞っていく。いいんじゃないですかね。最初から委員長さん、副委員長さんでこう絞るってということで、それでいいんですかね。皆さんがいいっていうならいいんですけども、私はそういうことではないだろうと。 最終的には人口減少をどうするか、それには空き家だけではなくて企業の働く場所とか若者、駅東だとかああいうふうな住宅を新しくするかですね、あとは保育所の面とか、そういうふうないろいろな政策があった中で人口減少対策だと思うんですけども。まあ空き家もあるんでしょうけど、空き家だって220戸ですよ、今のところ。今後はふえるかもしれないですけども。だから現状も空き家の活用っていうのはあまり……。なかなか相続とかいろいろな問題で進まないっていうのが現状だったんじゃないですかね。この間の予算審査の中でね。だから研究する上で絞るのはいいんですけども結構厳しい内容に、なかなか議論するような内容になっていくのかなというのが私の感想だったんですけどね。
鈴木宏通委員長	佐野さんの御意見だとテーマはあまり絞り込まないで多少広げている考えるべきだという御意見ですけど。
山岸三男副委員長	ちらっと小耳に挟んだのが総務、教育常任委員会のほうでね、なんか似たような研究テーマだっていう話をちらっと聞いたんですけども。（「教育、民生」の声あり）教育、民生。教育、民生のほうでね。 そうすると総務、産業、建設常任委員会でも教育、民生と同じ研究テーマになっても、ひとつ私たちが議員としては町民の代表として常任委員会を設置してやったときに、また今年も当然議会報告会がございます。そのときに各常任委員会の研究テーマを「教育、民生と総務、産業、建設常任委員会、なんだよ同じようなテーマを2つの常任委員会で行う必要があるのか」と町民からそういう見方をされるのもいかなものかと私は感じたんですね。そうするためには、我々総務、産業、建設常任委員会でももう少し絞り込んでそこから議論を深めていく、拡大していったほうが町民の皆様にはわかりやすいんじゃないかなという意識を持っている。
佐野善弘委員	だから、具体的に我々に教えていただかないと皆さんだけでわかってても……。どれが似てるんだかさ。教えていただかないと我々だって納得というか、なんでこういうふうになったのかっていうことに。（「さっきから……」の声あり）だから山岸さんはわかっているんだかもしれないけど、どういうふうな内容か教えてください。
山岸三男副委員長	内容……。
佐野善弘委員	うん。今言った内容さ。具体的にさ。
山岸三男副委員長	教育、民生の内容は私は小耳に挟んだって言ったじゃないですか。

佐野善弘委員	そういうことでは駄目なんじゃないですかね。調整するっていうことでしょ、だから。
山岸三男副委員長	別に俺らは教育、民生と調整するなにもものも今はない。
佐野善弘委員	今の話は調整するっていうことでしょ。
山岸三男副委員長	それをこれからの話でしょ。教育、民生はそれで進めるっていう話を本当に小耳に挟んで。直接福田委員長と話をしたわけでもなんでもないのでね。
佐野善弘委員	だから、具体的にどういうふうな話なんですかっていうこと。
山岸三男副委員長	教育、民生のほうがでしょ。（「うん」の声あり）だからまだ聞いてないってば。ただ研究テーマが同じような内容だっていうことだけで。
佐野善弘委員	同じような内容っていうにはどういうことなんですかってこと。
山岸三男副委員長	聞いてないって。
佐野善弘委員	だから、聞いたって言ったでしょ。
山岸三男副委員長	それは教育、民生は我々と同じように人口減少と同じようなテーマで進めるよだよという話を聞いたんで。同じようなテーマを常任委員会でやる必要があるのかっていうこと。
佐野善弘委員	だったら初めからそういうふうに言ったらいいじゃないですか。
山岸三男副委員長	それを今説明したわけじゃないですか。
佐野善弘委員	説明って言ったってわかんないじゃないですか、我々は。
山岸三男副委員長	委員長と副委員長として前回の会議でやったことについて具体的に話し合いをして、まちづくり推進課ととにかく資料どうのこうのということもちょっと取り上げて、資料は皆さんにはまだ出してないけども、それでどうかなということできょうここで提案しているわけです。 だから佐野さんも……、前回研究テーマの標題を別に全部変えろって意味じゃなくて、もう少し絞ったらいいんじゃないかと。その中であと人口減少と定住化に当然空き家対策もつながっていくとは思っています。そこで議論をしていけばいいんじゃないかなということで。 標題をいきなり人口減少と定住化ってもっていくのか、空き家対策という標題を前面にもってきて、そのサブテーマとして人口減少だとか定住化につなげていく。そういう議論を進めていく。そういう考え方はいかがでしょうかという部分。何回か委員長も説明しているんですけども。
千葉一男委員	今の議論の中に、僕が今から勝手なつつこみね。かみ合うかどうかわかりませんが。私たちが担当しているのは、名前が例えば空き家の対策であっても財産管理上から、私たち財産管理のことはあります。担当が。また福祉のところから空き家を考えるのかというのが基本的なものを考える展開です。名前は同じ。だから今の社会はボーダーレスって言ってる部分があるんですから。あまり形式的なだけじゃなくて何をやって私たちの担当するサービスをどこに結び付けていくかというのはこう同じ展開をしていかないのさ。名前が同じだから内容が同じだった

	ら今の時代なんかみんな同じなのがいっぱいあるわけですよ。現実ですね。だからそうじゃなくて、我々が担当している仕事の中のこのサービスをもっと研究しろよというふうにする。そして今回の場合はこの間言ったようにみんな出しましたよね。だからそれを実はお願いしますというふうにしたんですよ。委員長、副委員長。だからそのときはこういうものがきました、だから私たちは2人に任せられる。こういう話し合いをして担当課とも話してこういうふうにまとめましたというふうですね、ここに私たちはこういうふうに結論を今作りましたという説明をしてくれば今みたいな展開にはならないんですよ。はっきり言って。言葉だけで見ると言葉遊びをしているようになっていくから。そうじゃなくて前のやつ。みんなで頼むって言ったよね。ここまでは間違いないですから。だからそれに対してこういう検討をしているいろいろ調べました。やってくれたんだから、全然それで……。今こういうふうな結論を出して、こうなって、こういう考えです。いかがですかってやってくれればさ。名前はたまたま変わったってこういうみんなの意思が入ってますというふうに説明してくれないとさ。ちょっと余計なことだけど、私聞いててね、そういう進め方をしないとおかしいでしょ。
櫻井功紀委員	最後にさ、1回目終わるときは委員長と副委員長に相談して、合議して話をすると。それで担当課のほうでやると。そこまで言ったっちゃ。ただ私が手を挙げてね、「人口減少対策と定住化推進がテーマですか」と聞いたらそうじゃなかったよね。そのつながりがそのとき決まればきょうしなくたって良かったんです。事務局のほうからも人口減少と定住化の推進について「対策」を入れないとちょっと言葉があれじゃないですかということが出ましたよね。
千葉一男委員	違う議論をするよりも何をやるかということですから。我々がとにかく担当するもののの中の何をやるかということ。テーマははっきり同じ表現ではないけど同じような内容だったんです、確かに。こういう人のことを言われたけど、こう検討して、ここまで来たと。どっから進めてくるかだね。なんか言葉だけ遊んでいるようでさ。
吉田二郎委員	最終的に調査しようとしている……とってたって同じだと思うんだけど、今副委員長が言った、ズバッと例えば空き家だと言ってしまえばさ。これも空き家を追っていけば人口減少化もあるだろうし。さっき言った、俺もそうだと思ったけど、最初のテーマで人口減少化と定住化推進にやって持って行ってその中に空き家がはまるよってなれば、そいつも捉えられるだろうしさ。私は、最初のテーマがかえっていいかなと思っていたんだけどね。
吉田眞悦委員	確認の意味でさ、その教育、民生のほうのほら、ちらっと聞いた話だということだけでも教育、民生のほうはもう確定しているのか。（「確定しています」の声あり）確定しているのだったら参考までに教えてもらってもいいか。
鈴木宏通委員長	休憩します。

	休憩 午後 2 時 5 0 分 再開 午後 2 時 5 3 分
鈴木宏通委員長	再開いたします。先ほど御質問がありました教育、民生のほうのテーマにつきましては、今回は「子育て支援対策について」でございます。 それではもう一度常任委員会のテーマに、調査研究テーマについて話をしたいと思います。先ほど、その捉え方もあります。これからの進め方もあるでしょうけども、大きいテーマで絞っていった1つのテーマでやっていくか、絞って裾野を広げるパターンの2通りあるかと思います。その中での、佐野さんが言うような話で、人口減少対策で少し広いテーマでもっていくという話があります。私たち委員長、副委員長の今回のテーマの絞り込みに関して2人で考えた部分は、ある程度絞ってこのテーマでいったらいいんじゃないかということで僭越までに空き家対策ということをもとに絞り込みまして人口減少対策と定住化推進に結び付けていってはどうかというお話をしまして、まちづくり推進課とのいろいろな話、そして現状をどのように皆さんで理解していただくかということも職員の方と先ほど申したとおり話してまいりました。その中で今回このテーマにつきまして空き家対策……ことを考えましてまずそのテーマをもって人口減少対策及び定住化推進につきましてしていくべくテーマとして考えた次第でございます。
山岸三男副委員長	今、委員長が言ったように佐野さんの意見は人口減少と定住化という前にもってくる表題にするか、それとも私たち委員長と副委員長で精査というかまちづくりには議論の中で現状の対策としては空き家が今問題。単なる空き家だから、空いてるからそこに定住してもらおうというだけじゃなくて、隣近所の雑草だとかそういうことも結構空き家というのはいろいろな課題を抱えているということ。それから空き家をどういふふうに対策を講じていってそこに定住してもらおう。定住してもらおうことによって人口減少を抑制していくというそういう流れのほうで議論としては進めやすいんじゃないかという思いがあったんでそういうきょうの話を出したんですけども。ただ、ここを佐野さんが最初に主張した人口減少化、定住化の空き家対策という表題にするのか。どちらを、委員長がさっき言ったような形でね。それを皆さんもう少し議論していただければ。表題が決まらないことには議論へ入れない、あるいは私たちが研究するいろいろな資料を取り寄せるにしても何をメインテーマにするのかというのがわからないと話が進まないと思うんで。それをもう少し皆さん、意見を出していただければと。
千葉一男委員	今、副委員長が言った、それは福祉政策ですか。それともうちのほうでいくと何の政策になりますか。現象で見たらどちらかというと福祉政策に近いような説明だったんですけども、それは我々が担当するところの何の担当にぶつけるような活動になるんですか。今の説明だと。
山岸三男副委員長	そうだねえ。間口を広げれば当然福祉系……。
千葉一男委員	そうじゃなくて、我々が担当している……。

山岸三男副委員長	総務、産業、建設常任委員会の立場からすれば、空き家は課題としてどういうふうに対策していくか。福祉行政ではなくて、これは防災管財課関係も含まれますよね。だから我々総務、産業、建設常任委員会の立場で対策、研究テーマを進めるというのは筋じゃないかと思うんです。
千葉一男委員	防災と、そうすると財産管理。（「財産も入るよね」の声あり）そういう問題ですか。そうすると雑草とかなんかはどちらかというところ別のほうに行くんですか。だからそういうふうな説明をされるとね、どこに出すのかがわからなくなっちゃうから。
山岸三男副委員長	対策で言えば空き家は、だから私が言ったように、単なる空き家の問題だけではなくて隣近所の環境も入る。ということは、福祉のほうにもつながっていくんだよ、となってしまうんですよね。だから私たちの視点としては……。
千葉一男委員	そうじゃなくて、私たちが目指すのは何をやるかを明確にしないと、福祉もそうなのは隣だからわかりますよ。今はボーダーレス社会だからそういうふうなきちとはできない部分はいっぱい出てるんですよ。だからそれはそれでそれとして、目指すのはここです。しかし目指していくうちに隣のほうにも関わりが出てきますというのは……。 （「そのとおりです」の声あり）
櫻井功紀委員	せっかく委員長と副委員長とまちづくりの担当課で協議して資料までもらってやったんだから私はそれでいいと思いますよ。
鈴木宏通委員長	吉田二郎委員は間口を広げていたほうがいいですか。
吉田二郎委員	人口減少対策と定住化促進って最初にやってさ。確定じゃないと言えど確定じゃないんだけど。さっき冒頭で委員長が言ってくれたんだけど、……。
吉田眞悦委員	前回話をしたときに人口減少対策と定住化促進にということでその中での1つとしての空き家対策の関係という話までは記憶はしているのね。（「はい、そのとおりです」の声あり） ただ、今確認してほしいと言った教育、民生の委員会の方も結局は人口減少と定住化の1つなんだよ。その中の子育て支援の部分絞ってやりましょうということなのさ。おそらく。本心は分からないけど、おそらく文言だけで見ると。だから共通する大きなテーマは人口減少と定住化の関係だと思うのね。だからそれに伴えば、今言われているように、例えばそれが空き家対策になっても1つだろうし、前にやった産業の活性化だっても結局は働き場所の確保みたいなところからすればそれもこのテーマに皆絡んでくるんだね。だからうんと広いんだよね。人口減少と定住化促進ということについてはさ。だからそういう意味合いからすれば、今言われたような、とにかく1つはその空き家、まあ個人財産だからどこまでできるか分からないけども。あとはそのほかにも利活用できない、なんていうかな、うまくできていない公的財産もあるかもしれないけど。どこまでやるかというだけのことだと思うのね。中身的にはさ。だから1つの大きなテーマの人口減少と定住化促進ということの

	中のなになにという決め方でそれはありだと思うからさ。そういうやり方でも今回手を付けてその議論の中でもっと発展する可能性もあるわけだ。途中で。もしかしたらね。だからそういう形でよりよいなんでも提言が出来るようにしていければそれでいいんでないかなと思うよね。これ、かなり難しいよ、本当に。
千葉一男委員	だから目標をきちっとしていかないかね。自分のいるところもわからないのにさ、名前だけでね・・・どこに進んでいくかわからないから。そこだけ・・・。と思うんだ、俺は。
吉田眞悦委員	だから、それぞれの委員会で大きなテーマに共通するようなことなんだけど、その部門部門でのね、別に話し合っただけじゃないんだけどさ、そのように偶然にそういうことになって最終的にはこの人口減少と定住化促進の中の一助となる政策と思われるのでということで提言を1つとして出すということも可能だろうからさ。最終的にだよ。議会として出すんだから、最終的には。だから、入りをそこでまずやってみましょうということは別に悪いことではないと思うしさ。
鈴木宏通委員長	私のほうから言わせていただいてよろしいですか。 今皆さんのいろいろなお話をまとめまして、まず大きいテーマに「人口減少対策と定住化推進」というテーマといたしまして、その中の進め方の1つずつの対策としての空き家対策、またはそのほかの対策も含めて今後考える。また進め方については次回なおさらこれについて進めていく、ということではよろしいですか。
櫻井功紀委員	テーマ決めたらいいんでないの。
鈴木宏通委員長	テーマは「人口減少対策と定住化推進」、その中である程度絞ってやったらいいかと思って私たち2人で言ったことは、これからの進め方の1つという部分の対策としてこれからも.....進めるこれからの進め方という部分でまた考えていきますので、今回の私たち総務、産業、建設常任委員会のテーマとしては人口減少対策そして定住化促進の部分ということで考えます。（「促進、推進」の声あり）あれ、促進だけ。
吉田眞悦委員	促進でないか。「定住化促進」でないかな。
櫻井功紀委員	「人口減少対策と定住化促進」。定住化「の」促進。
鈴木宏通委員長	「定住化促進」ってそのままでいったら駄目ですか。
山岸三男副委員長	人口減少対策・・・。人口減少「化」でないと。
佐野善弘委員	「減少対策」って言うんですか。
山岸三男副委員長	減少化の対策だよ。「減少対策」だと減少するための対策を講じることになるってこの間議論したはずだ。そのために「化」を入れましょうって。
鈴木宏通委員長	「人口減少化対策と定住化促進」。
山岸三男副委員長	人口減少対策って言ったら減少するための対策をするのかってことになるから。（「いやそれは正しくないな・・・」「違う違う」の声あり）減少化現象を対策として考えましょうっていう話でしょう。

鈴木宏通委員長	前回のなんだっけ。
吉田眞悦委員	人口減少と定住促進っていうことにしてしまうと、人口減少も促進につながってしまうということで対策も入れましょうと。だから人口減少対策がひとつなのさ。と、定住化促進。
櫻井功紀委員	「と」って2つなのか。
山岸三男副委員長	2つなの。
櫻井功紀委員	人口減少の対策もしなきゃない。
千葉一男委員	促進か対策かはあとでどっちでもいいですから。使い方は事務局で調べてもらって。
山岸三男副委員長	この間「化」を入れないっていうこと言わなかったっけ。
鈴木宏通委員長	対策でなかったか。
佐野善弘委員	減少対策だよ。「人口減少対策と定住化の推進」。
高橋秀彰主事	佐野さんがおっしゃるとおりで、「人口減少と定住化の推進」っていうふうにしてしまうと、推進が人口減少にもっていうふうに読み間違えられかねないっていうこともあるので、人口減少対策と「対策」を入れましょうって話をさせてもらったんです。（「だよな」の声あり）
山岸三男副委員長	「人口減少対策と定住化促進」でいいのかな。
櫻井功紀委員	2つのテーマの感じがする。人口減少対策は1つでしょ。定住化促進もそうでしょ。テーマが2つのような気がするな。日本語難しいんだな。
山岸三男副委員長	間口あまり大きくなりすぎるから、どこから切り口やったらいいかわからなくなってしまうんじゃないですか。 だから戻ってしますけど、ある程度絞り込んだ形で間口を広げるか、間口を大きくしたテーマから絞りでいくのか。どっちかって何回も言っていることなんですよ。
櫻井功紀委員	2つのテーマのような感じがするな。対策いらんんじゃないですか。人口減少による定住化促進だけで。対策があると対策のほうもやらないといけんじゃないじゃないですか。対策と定住化って2つのテーマになってしまう。人口減少による定住化促進でいいんじゃないですか。
千葉一男委員	定住化なら人口増加による定住化促進……。減少なら、減少して促進するわけ。ちょっと違うような気がするけどな。
櫻井功紀委員	人口が今、全国的にどこの町も減少しているんだから、それに対する定住化促進っていう1つのテーマ目標のほうがいいような気がするんだけどな。人口減少対策って言うと人口減少対策もやらなきゃないし、それから定住化促進って2つなるような気がするな。
山岸三男副委員長	むしろ減少じゃなくて人口増加対策ってしたほうがいいんじゃないか。増加させるために定住化させるんだから。
千葉一男委員	なるべく少なくしないように努力していく。現状維持も含めた考え方も入っている。増加なんていう言葉は……。維持も含めて減少を少なくしていこうっていう考え方なんです。
鈴木宏通委員長	定住化促進だけでいいと思いますよ。

櫻井功紀委員	うん、定住化促進だけでいいんでないか。
山岸三男副委員長	大きい標題を定住化促進とか定住化推進対策とかそいつだけにしてその下に空き家対策であったり……。
櫻井功紀委員	すっきりしていい。定住化促進だけで。
鈴木宏通委員長	それでは「定住化促進について」ということでよろしいですか。(「はい」の声あり)人口減少を削って。2つのテーマになってしまう可能性がある。 調査研究テーマは「定住化促進について」でこれから行ってまいります。このテーマに向かいまして今後の進め方を次回の委員会で皆さんと話し合いをしたいと思います。次の委員会の日程を決めたいと思いますが、今月の29日は皆さんいかがでしょうか。
山岸三男副委員長	木曜日オーケーです。
鈴木宏通委員長	9時半からでいかがでしょうか。
櫻井功紀委員	3回目の集まりね。
鈴木宏通委員長	いや、一応一番最初があるから。
櫻井功紀委員	今度4回目ですか。(「はい」「なんだよね。次4回目ね」の声あり)第4回、次ね。
鈴木宏通委員長	この29日の委員会のときは今後の進め方としてどのような点で捉えていくかということをそれぞれ考えていただきながら進めたいと思います。 それではこれで委員会を終了いたします。副委員長お願いいたします。
山岸三男副委員長	大変活発な議論をしていただきました。我が常任委員会の研究テーマ「定住促進について」と表題が決まりました。このことについてこれから皆さんの御意見をいっぱいいただいて報告書ができるように進めていきたいと思います。よろしく願いしたいと思います。 次回の第4回の常任委員会は3月29日木曜日9時半ということになりましたので、(「定住促進についてって言ったよね。定住化促進……」の声あり)「定住化促進について」であります。よろしくお願いします。御苦労さまでした
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年3月15日

総務、産業、建設常任委員会

委員長